		7 仰 3 十茂子仪前	11 州4071日11 州32		徳皀旦立吉里	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		己評			学校関係者評価	次年度の課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評	価	学校関係者の意見	今後の改善方策
学校運営の充実	(全体レベル) ① 専門教育を深化させるとともに、農・商併設のメリットを生かし、地域や社会の要請を視野に入れた特色ある学校づくりをチームとして推進する。 ② 地域の行政や事業所等との連携を深め地域の教育力を生かした教育活動を展開	評価指標 ① アグリ吉野川やスクールカフェ吉野川を 持続的に開催する。 5回以上 ② 地域の行政や事業所等との連携を行う。 年間4回以上	評価指標の達成度 ① アグリ吉野川(含む鴨島駅前商店街)の開催回数 10回 ② 吉野川市伝統文化「菊づくり」や「かもじま商店街にぎわいづくり」など	評定 総合評価 A B (所 見) A ・ 本年度もアグリ吉	○ コロナ禍で一昨 年とは違い地域関 連の行事の制限も あったと思う。生 徒は人との関わり	鴨島駅前にぎずいづくりでありやスクールカフェ・次年度に 継続し、次年度においてもPR活動
	する。 ③ 教職員研修の充実を図ることにより教職員の資質向上に努め、学校全体の教育力を向上させる。 ④ 教職員が高い倫理観と使命感を持って業務にあたるとともに、業務の効果	③ 学校訪問や初任者研修など、研究授業を行う。 年間6回以上 ④-1 職員共有サーバーの利用を有効に活用し業務の効率化を図るとともに、情報資産	継続実施 31回 ③ 年間を通して学校訪問や研究授業を実施 7回 ④-1 情報資産の取扱については、持ち出し管理シートに持ち出す日付を記入	野川の利用者数は、 コロナ禍の影響から 来客数が減少することを予想していたも のの、リピーターの 増加やPRの効果も	方でできた,できていないことを学ぶのではないか。 ○ タブレットの活用は良いった。生気はないない。	や早めのチラシの配布などを行いすなる集客数の増加をめざしたい。
	努めワーク・ライフ・バランスを図る。	持ち出し管理シートの活用を実施する。 100% ④-2 情報セキュリティに関する規約の遵守 並びに教職員全体での意思を統一する。 ウイルスチェック 年6回以上 ④-3 出退勤管理システムを活用して,管理 職が教職員の勤務時間を把握する。週1回	するとともに押印し,返却後,日付を 記入し,管理職が確認している。 100% ④-2 情報セキュリティに関するウイル スチェック 6回 ④-3 毎週,超過勤務の時間をチェック している。 週1回	あり,多くの客か 集めた。スクは,本条 リス 古野川は 対象と は対 対象とした が は が ない は が ない は 対 ない は 対 ない は が ない と した ものの が ま が し に も のの が ま に し た も のの が ま に し に も のの が ま に し に も の の が ま に し に も の の が ま に し に も の の が ま に し に も の の が ま に し に も の の が ま に し に し い に は に は	徒はどれほど使い。 になせているの化。 授業形態の変化。 ICT活用の進度 等も知りたいかったと とが多かったと われる。	・ 数一の・ 数一の・ るあ活地のに端ッにもにものにもをををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををを
	⑤ ホームページ等を活用し、積極的に教育活動に関する情報発信を行い、開かれた学校づくりを推進する。	⑤ 学校ホームページの更新 年100回以上	⑤ 学校ホームページの更新 60回	般に向けた本開催はできなかった。 ・…地域や行政との連	○ ウェブ会議などで出張の時間を短縮でき,その時間を生徒に使うこと	究したい。 ・ Webページの 用について,単
	⑥ 「とくしまの学校における働き方改革 プラン」を推進する。	⑥ 「働きやすい職場環境づくり」や「業務の効率化」を目指し、ICT環境を活用する。 ICT環境の活用のための研修会 3回以上	⑥ ICT環境の活用のための研修会 6回	携においては, エシ カルクラブの活動や 「かもじま商店街に ぎわいづくりに加 え, 吉野川市伝統文	ができたのではないか。 ○ コロナ禍の今, 様々な効率化が求	更新回数だけで く,中身につい 改善し持続が可 な情報提供の運 方法についても
	(下位組織レベル) ① 地域や社会に対応できる特色ある学校 づくりの推進事業をチームとして推進	活動計画 ① アグリ吉野川やスクールカフェ吉野川の 実施する日時をホームページやチラシの配 布を通して地域住民の方々に周知する。	活動計画の実施状況 ① アグリ吉野川の実施する日時の入った シの配布やホームページを通して地域付 方々に周知した。 ホームページ掲載 チラシ配布	住民の た。	め あいま は で は で と で で し で と で から 下 仕 視 定 値 た えく で い の 下 仕 祝 定 値 た えく で と で と で と さ と さ ら が メ 率 方 物) 必 る だ と は え と さ ら か る だ と は な と ら で る と で と で と で と で と で と で と で と で と で	 計 し た お に と さは、に に に に に に と が と で で で で と で と で と で と で と で と と と で と で と で と と と で と で と で と <l>と と と と と と <l< td=""></l<></l>
	② 「エシカル消費」の取組の推進	②-1 「エシカルクラブ」を中心として,校内外での発表の機会を設けることにより普及・啓発に努め「エシカル消費」の推進を図る。 2回以上②-2 「エシカルクラブ」を中心として,「エシカルグッズ」の配布を行う。 5回以上	②-1 「エシカル消費」を推進するため, ラシリサイクル活動や林業センターでの に参加した。	**		
	③ 各教員が研修をとおして資質の向上④ 情報セキュリティポリシー遵守の徹底	③ 研究授業の参観及び研究協議を実施し, 授業力向上を図る。 6回以上	③ 「公開授業週間」を実施し、授業の参び協議を実施した。	1回 極的に進めた G I	面白いことをやっ ている人に話して もらう。興味を持 ってもらえるよう	によるニュース リースについて, 積極的に取り組 でいきたい。
	使 情報セキュリティホリシー	 ④-1 職員共有サーバーを活用し、校務の効率化を図るとともに、資産管理シートの活用の徹底を図る。 ④-2 情報セキュリティポリシーを遵守し情報漏洩防止を図る。 ④-3 出退勤管理システムを適切に運用し活用する。 		効率連動し教育の質の向 上と働き方改革の推 進にもつなげるよう 活用している。	ってもらえるよう な内容を企画すれ ば,良い出会いを 広げていけるので はなか。	・ 体験型のイベトの実施を検討たい。
	⑤ マスメディアを活用した広報やホームページの充実、学校行事の公開等、積極的な情報発信	⑤ 保護者や地域に、本校の特色や学習活動などを積極的かつリアルタイムな情報を提供できるよう、ホームページの更新や充実を図る。	⑤ 保護者や地域に、本校の特色や学習活 どを積極的かつリアルタイムな情報を提 きるよう、ホームページの更新や充実を ている。	務内容の見直しや進 動な め方の効率化につい ての検討を進めた。図っ 着実な推進のために は教職員における更		
	⑥ 働き方改革の推進	⑥ 生徒に向き合う時間を創出し、教育の質の向上に務める。	⑥ 働き方改革に関する意識を共有すると に,計画的な休暇の取得を推奨している			

【 備 考 評価における「評定」の基準】A:100%達成 B:80%以上達成 C:80%未満~70%以上達成 D:70%未満~60%以上達成 E:60%未満達成

		7和3千尺子仪	11 州心门口印 州文			徳島県立吉野	予川高等学校 N c
		1 己 評	価			学校関係者評価	次年度への課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評	価		学校関係者の意見	今後の改善方策
確かな学力の育 成	(全体レベル) ① 基礎的・基本的な知識・技能を習得させ思考力・判断力,表現力等を育み,主体的に学習に取り組む態度を養い,多様な人々との協働を促す。	評価指標 ①-1 学力向上に関する職員不修・期1回を引動を対して、関する意識を対して、関する意識を対して、関する意識を対して、関する意識を対した。 第2 基礎 学力 規題である。 85 % 以足度 上で、 85 % 以上を、 2 は 数 4 と で 2 は 数 4 と で 2 は 数 4 と で 3 と で 3 と で 3 と で 3 と で 4 と で 3 と で 3 と で 3 と で 3 と で 4 と で 3 と で 3 と で 3 と で 4 と で 3 と で 4 と で 3 と で 4 と で 3 と で 4 と で 3 と で 4 と で 3 と で 4 と で 3 と で 4 と を 4 と で	評価指標の達成度 ①-1 学力向上に関する職員研修・教名学期1回実施 ①-2 課題テストの実施 各学期1回 ①-3 学校評価アンケート・生徒 授業満足度・生徒 基礎学力向上取組満足度・生徒 基礎学力向上取組満足度・当通教科 85.6%専門教科 88.3%・生徒 家庭学習実施率 60.5%・保護者 学力向上・内容充実度 83.5%	評定 B	総合 B 見 果との学通数で実」のおきを の たい度としていり達 を を との学通数で実」のおきでは を では、度と上者で値 を では、度と上者で値 を では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	で で で が が が が が が が が が が が が が	表活農,りをう実とれ金レス の,てと果よ。こ入上ュみ にひ成るくたり売ミて をつき通り層きいし取りシー をや充携ひり感し体業をいっ 引習を連徒よ実援で授社用シー 引習を連ばよって験に作てン は、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、この、
	② 個性の伸張を図り、専門的な知識・技 術を習得させ、スペシャリストとしての	・職員 授業における新聞の活用度 70%以上 ①-4 図書館の利用促進 ・図書館貸出冊数 900冊以上 ・図書館入館者数 3,000人以上 ・図書館蔵書満足度 80%以上 ・図書館だよりの発行回数 年10回 ② [農業]	・職員 授業における新聞の活用度 96.3% ①-4 図書館の利用促進 ・図書館貸出冊数 726冊 ・図書館入館者数 1,484人 ・図書館蔵書満足度 57.6% ・図書館だよりの発行回数 6回 ② [農業]		でかく。 である。 電ト経ル味が をかれていず がいずれるので にないで がいずれるので にないで がいずれるで であがっると であがっると を を に に に に に に に に に に に に に	実感気れば、る。学れば、るのいかきつ、できつ、できるれかのう。 ジャン・シャン・カと マムカと マムカ ゲー マムカ かん アーカー マムカ かん	ない から
	基礎をつくる。	・プラワー装飾・室内園芸装飾技能検定 3級 生物活用科3年 受験率 100% ・日本農業技術検定3級 農業科学科,生物活用科1年 受験率 100% 合格率 90%以上 「商業」 ・(1年)全商3級1種目以上 取得率 100%	・フラワー装飾技能検定3級 合格率 71.4% ・室内園芸装飾技能検定3級 ・国本農業技術検定3級 ・日本農業技術検定3級 一合格率86.7% 合格率86.2% 「商業」 ・(1年)全商3級1種目以上 取得率87.0% ・(2・3年)全商2級1種目以上	В	を を を を を を を を を を を を を を	シンが場すれュみ学 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	でである。フ電点を17条件の多にはから使用語が、一次ではから使用語が表示をできたのではできる。 ではかり、一次ではがをのできた。 ではかり、一次ではいる。 では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次
	③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。	・(2・3年)全商2級1種目以上 取得率 70%以上・全商1級1種目以上 取得者者 20名以上・全商1級2種目以上 取得者者 10名以上・全商1級3種目以上 取得者 5名以上・日商簿記3級合格 2名以上・日商簿記の参観率 80%以上のが10分割でででです。 20分割でででです。 20分割ででです。 20分割ででです。 20分割ででです。 20分割ででです。 20分割ででです。 20分割ででです。 20分割でです。 20分割でです。 20分割でです。 20分割でです。 20分割でです。 20分割でです。 20分割です。 20分割できる。 20分割できる。 20分割できる。 20分割です。 20分割です。 20分割です。 20分割できる。 20分割でき	取得率 57.7% ・全商1級1種目以上 15名 ・全商1級2種目以上 2名 ・全商1級3種目以上 2名 ・全商1級3種目以上 2名 ・日商簿記3級合格 2名 ・日商簿記が表示を観率 41.0% ③-2 (対主体的・対話的で深い学び) 研究授業の実施 年4回		進のになやごマ目空用 開全目で時でて用どれ がみ庭い使んマ がいにるたみ間過スがの使 と体家おなとマ と体家がをすっな での値すっ体時のつ時 とっな でのしま	いッカすは いッみすは をいったの の下合るな をもか の下合るな をもか ををもか 者にし でをいのがで をもか でをいのがで 者にし ででとし ででとし のでをした のでをいるが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが ともができるな をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが をもかが ともができたもが のでをいるが をもができたもが をもができたもが のでをいるが をもができたもが をもがができたもが をもができたもが をもができたもが をもがができたもが をもができたもが をもがができたもが をもがががががまた。 ともがががまた。 ともがががまた。 ともがががまた。 ともががまた。 ともがががまた。 ともがががまた。 ともがががまた。 ともがががまた。 ともがががまた。 ともがががまた。 ともががまた。 ともがががまたがががまた。 ともがががまた。 ともがががまたががががががががががががががががががががががががががががががががが	・とき資自っ的制をを発見している。
	④ 主権者意識を高める教育を推進する。	③-3 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った教科会等の実施 年3回以上 ③-4 生徒による「授業改善のためのアンケート」の実施 年2回・「学びの見通しと振り返り」、「学習規律」、「安心と受容」、「主体的能動的学び」の各項目に「あてはまる」と回答した生徒 80%以上	③-3 「主体的・対話的で深い学び」 教科会等の実施 年4回 ③-4 12月アンケートの実施 年1回 ・「学びの見通しと振り返り」、「学 習規律」、「安心と受容」、「主体的能 動的学び」の各項目に「あてはまる」 と回答した生徒 87.9%	В В	生書さ要問る全読書でれてきのと大発した身が毎年をである。 でが1ではかいではいいでは、でが1ではからではが1ではからでは でが1できる。実時徒でさせいできる。 でが2での生し切してが2でのを大発した。 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でのでは、 でが2でいるではないるでは、 でが2でいるではないるではないなではないなではないなではないなではないなではないなで	ての保養しい での保養しい での保養でのない を 1 に を 2 に 自見がのる。は の 2 に を 3 に で 3 に で 4 に の 2 に で 3 に で 3 に で 4 に の 1 に で 5 に で 7 に で 8 に で 8 に で 8 に で 8 に で 9 に で 1 に	・アせ層をてき指 Sナな「身捉るう充 Sナな「身捉るう充 を関えルのときさせ を関えれのときさせ では層をてきば では層をてき指
	⑤ 消費者教育(「エシカル消費」を含む) を推進する。	 ①-1 主権者教育に関するホームルーム活動や学校行事の実施 年2回以上 ①-2 「政治や選挙への関心が高まった」と回答した生徒 75%以上 ⑤-1 消費者教育(「エシカル消費」を含む)に関する学校行事の実施 年2回以上 ⑤-2 「エシカル消費を身近なものと捉える」 	実施	В	大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	を 供が は に に に に に に に に に に に に に	v < .
	(下位組織レベル) ① 基礎学力の向上に向けた取組の実施	ことができる」と回答した生徒70%以上 活動計画 ①-1 学力向上委員会において取組の検証を 行う。 ①-2 4月に基礎力診断テストを,9月と1 月に学校独自のテストを実施し,基礎力 の定着具合を把握する。	提えることができる」と回答した生 徒 68.6% 活動計画の実施状況 ①-1 学力向上委員会において取組の検 った。 ①-2 4月に「基礎力診断テスト」, 9月 月に学校独自のテストを実施し,基礎 着具合を把握した。	l と 1	3ない。 と値き 業標にのっ 、目がた 横届、た ほ標で。 と値き 本でっ格 商のす題 公夫 本でっ格 商のす題 公夫 を選頭るが 関く を選頭を ・ ど達課 ・ 大き	○ にエDブ変方なめる。でもかり、なる変か学者はでの会話組白いまなる変かがいます。 「もかり、なる変かがでの会話組白いたとだわ。 を単れたなる変かがでするが、ではも もかり、なるでのでのを付い。 を対したでの会話組白いたといるでは、 もからいたといるでは、 での会話といるでは、 での会話といるでは、 での会話といるでは、 での会話といるでは、 での会話といるでは、 での会話といるでは、 での会話といるでは、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会話といる。では、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、このでは、 での会が、 での会が、 でのでののでのでのでのでのでいる。 でのでのでのでのでは、 でのでのでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、	

② 各種資格取得の奨励と補習体制構築による合格率の向上 ③ 授業改善の推進 ④ 公民科をはじめとした各教科の授業やホームルーム活動,学校行事等の実施 ⑤ 各教科の授業やホームルーム活動,学校行事等の実施	①-3 という (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	①-3 字を見いた では、	業分るとた。ケにり板果い 環論研議 て管箱実役避実 対教施。立投でのっ業分るとた。ケにり板果い 環論研議 て管箱実役避実 対教施。立投でのっ			
--	---	---------------	--	--	--	--

[備考] 評価における「評定」の基準】A:100%達成 B:80%以上達成 C:80%未満~70%以上達成 D:70%未満~60%以上達成 E:60%未満達成

		7 仰 3 千及子仪に	1 州小山田		徳島県立吉里	予川高等学校 No.
		1 己 評	価		学校関係者評価	次年度の課題と
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学校関係者の意見	今後の改善方策
3 生徒指導の徹底	(全体レベル) ① 基本的生活習慣の確立を図り、身だしなみを整え、規範意識や道徳心を高める生徒指導を推進する。	評価指標 ①-1 校門での登校指導実施率 100% ①-2 校内外巡視の実施 100% ①-3 頭髪服装指導時における違反率 各学年4%以下	①-1 校門での登校指導実施率 100% ①-2 校内外巡視の実施 100% ①-3 頭髪服装指導時における違反率 1% B 学校評価アンケート ・生徒服装頭髪 92.6% ・教職員服装頭髪 87.0%	新型コロナウイル ス感染症拡大の影響 で、本来対面で行われ	○ コロナ禍の2年 間,空間を共有す るこせを禁止のの学 を中心の、 で生活という。 で生活との、 で生活のコント でという。 ではといら。 ではという。 ではという。 ではという。 ではという。 ではという。 ではという。 ではという。 ではという。 ではという。 ではという。 ではという。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・ 生徒の行動様式 に,変化が現れて いるように思われ る。コロナ禍でも 落ち着いた学校生 活が送れてるな変化
	② 教職員の共通理解のもと、保護者や地域社会との連携を密にし、信頼感に満ちた生徒指導を推進する。	①-4 遅刻指導の徹底遅刻率 1.3%以下 ②-1 生徒指導委員会の決定事項・検討事項の教職員への伝達の徹底 随時 ②-2 保護者・地域住民からの苦情や相談の処理を徹底 随時	・保護者服装頭髪 86.8% ①-4 遅刻指導の徹底 遅刻率 2.23% ②-1 生徒指導委員会の決定事項・検討事項 の教職員への伝達の徹底 随時 A ②-2 保護者・地域住民からの苦情や相談の処理を徹底 随時	頂き、改善に向けての 意見交換等も十分に行	くいのではないか。 どのようションを取っているのか。 一つでなっているのか。 つっているのか。 のったり前でいる。 でもない。 ではない。	を見逃すことなく, 適切なアドバイス や指導を継続して いきたい。 ・ SNSによる誹 時傷などの友, 間トラブルが, 増
	③ 学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの早期発見・早期対応に努める。	③-1 学年別の情報交換会実施 毎学期1回 ③-2 いじめのアンケートの実施 年3回 ③-3 いじめ行為等の事案が発生した時には速やかに委員会を開き適切に対応する。 随時	3-1 学年別の情報交換会実施 毎学期1回実施 ③-2 いじめのアンケートの実施 3回 A ③-3 随時実施中	・・・・ うことができなかった。そのため、遅刻数や頭髪服装の内規違反を何度も繰り返す生徒が見られ、その結果、遅刻率では目標とする評価指標をクリアできなかった。	校で生徒がやけって生徒がいる。 で間のがなる。不応などの生徒のとなったない。 のというではいるのがない。 のといるのがない。 のというではいるのが、 のとがいるのが、 のと対しているのが、 のはどうしているのが、 のはどうしているのが、 のはどうのが、 のはどうのが、	えてきている。生 徒の日常の行動や 表情に目を配り, 個別面談や声かけ を行うなどして, トラブルの未然防 止や早期解決に努 めていきたい。
	(下位組織レベル) ① 日常的な生活指導による基本的生活習慣の確立	活動計画 ①-1 毎朝校門で頭髪服装指導を中心とした登校指導を実施する。 ①-2 生徒指導課を中心に,毎月1回,学校安全の日を実施し,学校周辺の安全確保を図る。 ①-3 生徒指導課を中心に,毎月1回,全校集会時に服装頭髪検査を行い,事後指導・継続指導を徹底する。 ①-4 遅刻が多い生徒との面談等を実施し改善を図る。	安全の日を実施した。 ①-3 生徒指導課を中心に,毎月1回,全校集会時に服装頭髪検査を行い,事後指導・継続指導を徹底した。	は,生徒の92.6%が「身だしなみはきちんとできている」と答える一方,教職員は87.0%,保護者が86.8%と低く,教職員や保護者が求めるレベルまでには	には には ではで ではで ではで ではで ではで ではで では	 保護者の協力も得ながら、遅刻防止の徹底を図りたい。 交通安全の呼びかけも定期的のに大い、交通安全の呼びかけもを通事故のに未然防止を図りたい。 今後も教職員間で共通理解を図り、
	② 保護者,地域社会,関係機関との連携	②-1 職員朝会において共通理解を図る。 ②-2 保護者や地域住民・補導センターの苦情や相談に対して、迅速かつ誠実に対応する。	②-1 随時,職員朝会において共通理解を図った。 ②-2 保護者や地域住民・補導センターの苦情や相談に対して,迅速かつ誠実に対応した。	%と,目標を達成できなかった。その原因としては,特定の数人が	計画は、PDC Aサイクルを実行 するためにある。 良かったものはさ らに伸ばし、悪か ったものは改善す	生徒指導に努めていきたい。
	③ 教職員間での情報の共有化及び連携強化	 ③-1 年度初めには学年別に情報交換会を行い、生徒の家庭環境や学校生活に関する情報を共有する。 ③-2 アンケートの結果により、面談等を実施し早期発見に努める。 ③-3 事案が発生時、迅速に組織的な対応を行う。 	③-1 年度初めに学年別に情報交換会を行い 生徒の家庭環境や学校生活に関する情報を 共有した。 ③-2 アンケートの結果により,面談等を実 施し早期発見に努めた。 ③-3 事案が発生時,迅速に組織的な対応を 行った。	か, 数字を大きく引き上げた。その一方1%に満たないクラスも4クラスあるなどクラスによる違いが大きかったよ	るか止めていく。	

【 備 考】評価における「評定」の基準】A:100%達成 B:80%以上達成 C:80%未満~70%以上達成 D:70%未満~60%以上達成 E:60%未満達成

重点目標	評価指標と活動計画	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 	\\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	次年度の課題と
		評	価	学校関係者の意見	今後の改善方策
	評価指標	評価指標の達成度	評定 総合評価	4 NAMARIS H. 10170	
(全体レベル) ① 人権尊重を基盤とする普遍的・個別的な視点に立ち、学校教育活動全体を通した人権教育を推進する。 ② 自他を大切にする心や態度を育成する。	①-1 人権学習ホームルーム活動についての生徒の満足度 70%以上 ①-2 人権教育教職員研修の実施回数年8回 ②-1 人権映画会の生徒の満足度 80%以上 ②-2 文化祭展示用ポスター・標語・書道作品を作成する。 1年生全員提出 ②-3 人権の日の人権委員による啓発活動	いての生徒の満足度 80.6% ①-2 研修の実施5回 ②-1 人権映画会はコロナ禍の影響で 実施せず。 ②-2 ポスター・標語・書道作品の作成 1年生全員提出	B C (所 見) ・ コロナ禍の影響で 映画会や職員研修会を 実施できなかったが, 電子黒板が導入された ので, 教室でオンライ	○ 「葉ままで言に、 「葉ままいいたは、常には、常には、常には、常には、 「葉もいいがは、 とに重「を変い。を とたしる。 が続けるが続けるが続けるが、 があるが、 がったっと、 がった。 があるが、 がった。 があるが、 がった。 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がしまるが、 がした。 はないが、 はなが、	・ 人権の一人を教実活ない。 人権の一人を入りの一人にこと対しているとのでは、 一人を表してでいる。 一人を表している。 「人」を表している。 「人」を表している。」 「人」をましている。」 「人」をましている。」 「人」をましている。」 「人」をましている。」 「人」をましている。」 「人」をましている。」 「人」をましている。」 「人」 「人」 「人」をましている。」 「人」 「人」 「人」 「人」 「人」 「人」 「人」 「人」 「人」 「人
③ 特別支援教育を推進し、個々に応じた 支援を行う。	年9回 ③-1 教育相談ケース会の実施回数 年1回 (必要に応じて適宜) ③-2 心とからだの健康調査の活用 年3回 ③-3 特別支援教育研修会実施回数 年1回 ③-4 二者面談・三者面談に人権・相談課員 の同席 適宜	10回実施 10回実施 2-1 教育相談ケース会の実施 要請がなく実施せず 3-2 心とからだの健康調査の活用 学期に1度 (3回) 実施 3-3 特別支援教育研修会 実施せず 3-4 二者面談・三者面談での人権・ 相談課員への同席要請はなし。スク	ンによる実施も可能であった。 ・ 全校生徒が標語とホットメッセージに取り組んだ。ホットメッセ	る。 ○ 企業も従業員が 公的なツイッター などのSNSで,人	はま実か画入がは実施にたらいます。は聞計を題度の実施を をものでは、実施では、実施では、実施では、実施では、大きながでは、大きなでは、大きなでは、大きながでは、大きながでは、大きながでは、大きなが、大きないがは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないがは、大きないがは、大きないがは、大きないがは、大きないがは、大きないがは、ないは、ないは、ないは、ないは、ないは、ないは、ないは、ないは、ないは、ない
(下位組織レベル) ① 人権学習ホームルーム活動の充実	労体験の情報提供 適宜 活動計画 ①-1 人権教育主事と学年主任・担任との連携を図り人権ホームルーム活動内容を準備する。 ①-2 様々な人権課題について実態から学ぶ	の要請なし 活動計画の実施状況 ①-1 人権意識調査を実施し、インターストによる人権問題、偏見と差別、就職をに関するホームルーム活動の事前研修会各学年ごとに5回実施した。 ①-2 人権ホームルーム活動を行う時は、	差別 活動で人権委員が啓発 会を 活動をしている。職員 室でも同様の活動を実 施しており、校内全体	性がある。世の中 がある。世の中 が感になって持 つことができれば、 生徒の真識も がり、意識もか るのではないか。	入れた。を ま前とかい。を まがしたがら。 がいたがら。 がいたがら。 がいたがら。 がいたがります。 がいたがります。 をしていい。 はのいいではいい。 はのいいではいい。 はのいいにはいいいいがいる。 をしていいいいがいる。 はのいいにはいいいいがいる。 をしていいいいにはいいいいがいる。 をしていいいいにはいいいいがいい。 をしていいいいいにはいいいいがいい。 をしていいいいいいいにはいいいいいがいいい。 をしていいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
② 人権啓発活動の充実	②-1 人権映画鑑賞によって人権意識を高める。	いては学校教育活動全体で取り組んでい ②-1 人権映画会はコロナウィルス感染が 防のため実施していない。 ②-2 募集した作品(ポスター)の一部を 館掲示板に展示。2階の渡り廊下には やホットメッセージを展示している。 ②-3 「人権の日」の事前に人権委員会を	<u>いる。</u> よい機会になってい		現している。 でルスリンのでは、 でルスリンのでは、 でルス・のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 でいるのでいるのでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるで
③ 教育相談・特別支援教育の充実	修会を実施する。 ③-4 相談内容に応じて,関係機関との連携 ・相談を図る。	 ③-1 スクールカウンセラーからの情報が (生徒承諾のあった内容) や今後の対応 共通理解を図るため,必要に応じて教育談ケース会を実施する予定。 ③-2 心とからだの健康調査を各学期に受し、生徒の状況を把握して対応した。 ③-3 スクールカウンセラーとの連携を関対応した。 ③-4 相談内容に応じては、関係機関との携・相談に応じた。 ③-5 必要に応じて地域の障がい者就労 	提供 3名, 述べ51回実施。 2名, 述べ51回実施 2名, 述べ51回実施 4年徒へのようアとになるアンとになるカリカシス 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		さい。 ・ スクール 満異と でき続い カーの職る たった スクー・職る たき かった き続 ウッ が を まま カー 大 変 説 引 カル 事 と かった また かっぱ と が でき カル 事 と かった かっぱ と が でき カル 事 と かった かっぱ と かっぱ
	 ③ 特別支援教育を推進し、個々に応じた支援を行う。 (下位組織レベル) ① 人権学習ホームルーム活動の充実 ② 人権啓発活動の充実 	②-1 人権映画会の生徒の満足度 80%以上 ②-2 文化祭展示用ボスター・標語・書道作品を作成する。	②・2 文化係展示用ボスター・標語・素道作品 を作成する。 ②・2 文化係展示用ボスター・標語・素道作品 本作成する。) 中年全自帰出 ②・3 人権の口の人権委員による啓発活動 年9回 ③ 特別支援教育を推進し、個々に応じた 文施を行う。 ③ 1 教育相談ケース会の実施回数 年 1回 ③ 2 心とからだの健康調素の活用 年 3回 ③ 3 物別支援教育研修会実施回数 年 1回 ③ 3 物別支援教育研修会実施回数 年 1回 ③ 4 一条前談・三者前談に人権・相談誤員の同常 ③ 5 解が、本屋用希望者への職場見学、政労が決験の情報提供の関係の対策の対策を対して、スタールカウンセラーの末校・相談に同うを解析する。 ① 5 解が、本屋用希望者への職場見学、政党に対して適能での表述して、スタールカウンセラーの末校・相談に同うる。 ② 5 解診月を解析での表述という、アクールカウンセラーの末校・相談に同うる。 ② 5 解診月支援教育所を企業施している。 ② 5 操が上で、の変流なし、インターがによる形容を作品を発生する。 ② 5 解診月を実施している。 ② 7 人権修予経済的の充実 ② 7 人権の自分を実施している。 ③ 8 教育相談・特別支援教育の充実 ③ 8 教育相談を定して、生徒の政党が新した。 ③ 1 人権教育のが後を実施する。 ③ 2 変を体薬中の人権学育課題として、生徒の自分のた実施している。 ③ 2 変を体薬に対している。 ② 3 人権の自分の表述していない。 ② 3 人権の自分の表述を実施している。 ③ 2 のよりが表述している。 ③ 2 変を体薬がある。 ③ 1 未満重確をと発する。 ③ 2 できたとが見び教育語教会体で見り担心が、免を実施している。 ③ 2 のよりが表述した。 ③ 1 未満を図る。 ③ 3 教育相談・作別支援教育の理解を進めるため、新修会を実施する。 ③ 3 教育相談・企業のの表が、必要に応じて教育が対している。 ③ 3 のよりに応じて教育が対した。 ③ 3 かり支援機関に協力を ④ 3 体験に応じた。 ③ 6 体験に応じた。 ⑥ 6 をと変がする。 ④ 6 体験に応じては、関係機関との連携・相談に応じた。 ⑤ 6 をと述の対路をと関節に対しては、関係機関との連携・相談に応じた。 ⑤ 6 を述の政路をと関節に対しては、関係機関との連携・相談に応じた。 ⑤ 6 を述の政路がお着致労・支援機関に協力を	②-1 人権検討金の生物の協図度 89%以上 ②-2 文件条模示用ボスター・横部・下道作品を作成 とので減する。 1年中令員提出 ②-3 人権の目の人権委員による符を搭載 (19 回) (20 書) 大陸の目の人権委員による符を指摘 (20 音) 大陸の目の人権委員による符を指摘 (20 音) 大陸の目の人権委員による符を指摘 (20 音) 大陸の目の人権委員による符を (20 音) 大陸の目の人権委員によるで多数で (20 音) 大陸の目の人権委員によるで多数で (20 音) 大陸の目の人権委員に表して著名 (20 音) 大陸の目の人権委員によるで多数に (20 音) 大陸の目の人権委員によるで多数に (20 音) 教育組成ケース会の実施回数 年 1 回 (20 音) をとからたの健康対点が良力 (20 音) をとからたの健康対点が良力 (20 音) をとからたの健康対点が良力 (20 音) 特別支援教育研修会を実施する。 (20 音) 特別支援教育を推進し (20 音) 対しに (20 音) 大陸が開発して (20 音) 対しに (20 音) 対しに (20 音) 対しに (20 音) 対した (20 音) 大陸を対した (20 音) 対した (20	□・1 人種使属金の年後の物体形度 20%以上 ② 2 水化色展展所用水スター、減ご普通作品 を作成する。 1 年生生産目標 を作成する。 1 年生生産目標 ② 3 人権の口の体帯側による保険 20mg 20mg 20mg 20mg 20mg 20mg 20mg 20mg

【 備 考】評価における「評定」の基準】A:100%達成 B:80%以上達成 C:80%未満~70%以上達成 D:70%未満~60%以上達成 E:60%未満達成

徳島県立吉野川高等学校 No.5 学校関係者評価 次年度の課題と 重点課題 評価指標と活動計画 評 重点目標 (全体レベル) 評価指標 |評価指標の達成度 | 評定 総合評価 5 進路指導の充実 ① キャリア教育を通して、望ましい勤労 ①-1 外部講師招聘回数 年3回 ①-1 外部講師招聘回数 3 回 В ○ 早い段階での進 就職においては、 ①-2 校内・校外ガイダンス実施 今年度もコロナ禍 観・職業観の育成と自らの将来設計の構 ①-2 校内・校外ガイダンス実施 年3回 路に対する取り組 築を図る。 ①-3 進路補習実施 夏期休業中に5回以上 1 回 Α (所見) みが必要ではない の影響などが要因 ①-4 企業見学・職場体験の実施 ①-3 進路補習実施 4 回 となり, 求人数は ①-4 企業見学・職場体験の実施 25事業所程度 休業の影響もあり、 昨年度より増加し ②-1 保護者への説明及び情報提供 年2回 ② 個に応じたきめ細やかな進路指導を徹 1 学期の校内ガイダン 32事業所 たが,業種によっ ○ コロナ禍での就 底する。 担任の面談実施回数 各人2回 ②-1 保護者への説明及び情報提供 スは時期をずらして行 ては減少したまま ②-2 1 · 2年進路ホームルーム活動の実施 1回 った。 職の条件が, 改善 であった。来年度 年4回 担任の面談実施回数 3 回 しつつある。企業 については,不透 В 年5回 ②-2 ホームルーム活動の実施 3回 側はコロナ後を考 明であるが,生徒 ②-3 就職・進学資料の提供 ②-3 就職・進学資料の提供 ・ 就職ガイダンスは、 え、採用を増やそ の希望の進路選択 ②-4 特別な支援を必要とする生徒の進路相 3 回 随時 ②-4 特別な支援を必要とする生徒の 密を避けるため2日間 うとしている。 ができることを期 進路相談随時 に分けて開催した。 待したい。 ③-1 企業訪問の実施 200 200事業所 ③-1 企業訪問の実施 ③ 進路先の確保及び定着化のための指導 ③-2 学年ごとに教員研修会を実施 ○ 高校生のこの時 体制の充実に努める。 В ・ 企業見学については ③-2 学年ごとに教員研修会を実施 年2回 期は、スキルアッ 就職希望生徒の 1 回 プに繋げることが 職種・企業名など 例年通り実施した。昨 早期の実態把握を できるはず。例え 年にひき続きリモート 活動計画 (下位組織レベル) 活動計画の実施状況 開催が一部の企業で行 ば, オンラインで 行い, 早めの求人 ①-1 就職ガイダンス等において外部講師の 開拓に努めたい。 ① キャリア教育の推進 ①-1 就職ガイダンス等において外部講師の われた。 の仕事。高校生か 活用を図る。 活用を図った。 らできるワーケイ ①-2 分野別,職業体験型,就職·進学説明 ①-2 分野別,職業体験型,就職·進学説明 ション体験等はど 会を実施する。 会を実施した。 ・ コロナ禍のため、県 ・ 次年度も,大学 うか。 ①-3 就職・進学に向けた5教科の補習を実 ①-3 就職・進学に向けた5教科の補習を実 外企業への訪問は, 自 進学等の入試制度 粛した。県内の一部の 施する。 施した。 が変更されたこと ①-4 希望する生徒・企業と連携して実施す ①-4 希望する生徒・企業と連携して実施し 企業では自粛を求めら ○ 自分のスキルを を考え, 進学に対 る。 れるとところもあり, 高校生のうちに磨 して放課後補習な 代替えとして進路概況 き,体験する。最 どより積極的に行 ②-1 保護者対象の進路ガイダンスや面談等 ② 生徒一人一人の希望がかなう進路実現 ②-1 保護者対象の進路ガイダンスや面談等 の郵送を行い本校の情 終的には徳島に帰 い, 生徒の学力の を実施した。 報提供に努めた。 り, 指導をする側 底上げを図りたい。 を実施する。 ②-2 「キャリアノート」や「ポートフォリ ②-2 「ポートフォリオ」を活用した進路ホ になって欲しい。 オ」を活用した進路ホームルーム活動を実 ームルーム活動を実 施した。 ・「キャリアノート」 高校生が就職し ②-3 全校集会等を活用し、進路に対する啓 ②-3 全校集会等を活用し、進路に対する啓 や「ポートフォリオ」 て, 3年以内に離 発を行うとともに、進路委員を通じて各ホ 発を行うとともに、進路委員を通じて各ホ を活用し、進路ホーム 職するケースが. ームルームに資料提供する。 ルーム活動を行った。 ームルームに資料提供をした。 依然として高いこ ②-4 特別な支援を必要とする生徒に対し、 ②-4 特別な支援を必要とする生徒に対し、 生徒自らが記録し,将 とを考えると次年 担当教員や外部組織と連携して進路指導を 担当教員や外部組織と連携して進路指導を 来に向けての取り組み 度も,1年生や2 進める。 進めた。 等, 進捗状況の自己評 年生において学年 価ができた。 全ての生徒がイン ③ 生徒の離職率の削減 ③-1 新規の積極的な進路開拓を実施した。 ③-1 新規の企業訪問を実施するなど、積極 ターンシップを経 的な進路開拓を行う。 験できる環境を整 ③-2 学年会等を活用し、進路指導の研修を ③-2 学年会等を活用し、進路指導の研修を ・ コロナウイルス感染 えていきたい。 実施する。 実施した。 症の拡大防止のため、 思うような進路開拓を 行うことができなかっ

【 備 考 | 評価における「評定」の基準】A:100%達成 B:80%以上達成 C:80%未満~70%以上達成 D:70%未満~60%以上達成 E:60%未満達成

徳島県立吉野川高等学校 No.6

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	価		学校関係者評価	次年度の課題と				
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	今後の改善方策				
6 活力ある特別活動の推進	(全体レベル) ① ホームルーム活動・生徒会活動を活性 化させ、自主的・実践的な態度を育成す る。	評価指標 ①-1 生徒会活動に対する満足度 70% ①-2 あいさつ運動実施 年10回以上 ①-3 ホームルーム活動の充実度 70% ①-4 各種委員会の充実度 70% ①-5 学校祭の満足度 75%	評価指標の達成度 評定 ①-1 生徒会活動満足度 80% ①-2 あいさつ運動実施 1 回 ①-3 ホームルーム活動充実度 75% ①-4 各種委員会の充実度 75% ①-5 学校祭の満足度 80%	総合評価 B (所 見) ・ 挨拶運動は,生徒会	□ コロナ禍にある ので,部活動への 入部者数が気にな る。	ので、部活動への 入部者数が気にな	入部者数が気にな	ので,部活動への 入部者数が気にな	ので、部活動への 入部者数が気にな	挨拶運動はじめ 生徒会の活動は, 新型コロナの影響 で制限されてしま ったが生徒たちは,
	② 1年生の部活動全員加入による部活動の活性化を図る。	②-1 部活動加入率 1年100%, 2·3年70% ②-2 各部主将・部長会 年3回以上 ②-3 各部での取り組みと目標 (商業) 全商主催各種競技会県予選 各大会 3位以内入賞 (農業) 日本学校農業クラブ各種発表会県予選において,最優秀賞受賞 2部門以上押し花アート,フラワーアレンジメント等のコンクール出展 全国入賞:1作品以上県内入賞:5作品以上	②-1 部活動加入率 1年87.6%・2年80%・3年105% ②-2 各部主将・部長会 1回 ②-3 各部での取り組みと目標 (商業) 珠算・電卓競技会,ワープロ競技会,簿記コンクール,出場 (農業) 日本学校農業クラブ各種発表会県予選 B 日本学校農業クラブ各種発表会県予選 最優秀賞:1名 全国高校生押し本新聞社賞 西日本新聞社賞 第49回全国公募徳島県手工芸展徳島県教育委員会教育長賞 学生の部 最優秀賞	を経した。 を主にしている。 をで実躍がクがーとで実躍がクがーをで実躍がクがーをで実躍がクがーがで同のりけ動とで実躍がクがーがで同のりけ動とで表している。 とで実躍がクがーがで同のりけ動とで表したがおとり。 をは生も場話は昨た上も力きによってはましたがあるに、 ではでは、年には続めたでは、まして、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	○ コロが は は は は は は は な と は な と か な で ある 。	各い充るる ・ 年徒い率続活た ・ と分かったかこ。 部数の上をし動い 農っ活に 関見がのよび がった分こ。 部数の上をいりし ・ サーゴ を がったがった ・ と ・ と かったがった ・ と ・ と かったがった ・ と ・ と かったがった ・ と かったがったがった ・ と かったがったがった。 ・ と かったがったがったが、 ・ と かったがいますが、 ・ と ・ と かったがったが、 ・ と かったが、 ・ と ・ ・ と かったが、 ・ と かったが、 ・ と かったが、 ・ と かったが、 ・ と ・ ・ と かったが、 ・ ・ と かったが、 ・ と ・ ・ と ・ と ・ ・ と かったが、 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ ・ と ・ と ・ ・ と ・ と ・				
	③ 地域の環境整備など地域の活性化に貢献できる連携活動を推進する。(下位組織レベル)① 新学習指導要領に基づいたホームルーム活動,生徒会活動及び学校行事の活性化	③ 地域清掃を年に2回以上行う。 活動計画 ①-1 生徒が自発的に活動し、学校生活の充実や改善について指導する。 ①-2 校門であいさつ運動を毎月実施する。 ①-3 各代表生徒を中心に鴨島駅周辺・通学路の清掃活動等を生徒が主体となった活動を実施する。各環境委員を中心に地域の方と連携し、江川周辺の環境整備活動を実践する。 ①-4 生徒会を中心に企画立案した学校祭を開催する。	③ 地域清掃 1回 B 活動計画の実施状況 ①-1 生徒が自発的に活動し、学校生活の充実や改善について指導をした。 ①-2 校門であいさつ運動は4月に1回実施。 ①-3 各代表生徒を中心に鴨島駅周辺・通学路の清掃活動等を生徒が主体となった活動を12月に実施した。各環境委員を中心に地域の方と連携し、江川周辺の環境整備活動に参加予定であったが実施されなかった。	・ 商業科の競技会に で		その活躍を期待している。				
	② 部活動及び農業クラブ活動の活性化並びに学校リーダーの育成 ③ 自然保護の視点に立った地域に根ざした環境整備活動の推進	ーの向上を指導させる。	とで、入部率の向上を図った。 ②-2 各部主将・部長を中心にルール、マナーの向上を指導した。 ②-3 コロナの影響でプロジェクト発表及び意見発表が数多く中止となった。	・ 農業科については、 農業科については、 農業クラブ大会に大きない大きの一大会に大きないでは、 を決けるがいでは、 まではないでは、 ものでは、 ものでは、 はいでは、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと						

【 備 考 評価における「評定」の基準】A:100%達成 B:80%以上達成 C:80%未満~70%以上達成 D:70%未満~60%以上達成 E:60%未満達成

徳島県立吉野川高等学校 No. 学校関係者評価 次年度の課題と 評価指標と活動計画 重点課題 重点目標 評価指標 評価指標の達成度 評定 総合評価 (全体レベル) 7 防災・環境教育 ① 自他の生命を尊重し、健康の保持増進 В の推進 ①-1 防災に関する情報提供 年5回以上 コロナウィルス ①-1 防災に関する情報提供 6 回 ○ 漏水の話が出た と安全・防災意識の高揚を図る。 ①-2 避難訓練 年3回実施 ①-2 避難訓練 1回 が,校舎も老朽化 感染症対策を着実 ①-3 防災クラブの活動 年5回以上 ①-3 防災クラブの活動 1回 (所見) ており, 先生方が に実行し, 安心安 ①-4 保健だよりの発行 年8回 ①-4 保健だよりの発行 В 負担に感じないよ 全な学校の実現を 11月号までで7回 ・ 昨年に引き続きCO うにしてもらいた 図りたい。 ①-5 各種講演会の実施 年3回 ①-5 各種講演会の実施 2 回 V I D - 19感染症の安 ①-6 健診結果を通知 随時 ①-6 健診結果を通知 随時 全対策(マスク着用、 ①-7 心身の健康に関する保健調査 年3回 ①-7 心身の健康に関する保健調査 手洗い、うがい)を徹 本年度は防災土 ② 「新学校版環境 I S O」 承認取得校と 2回 底した。 ○ 自然災害など様 の資格を生徒が取 得することができ しての活動を推進する。 々な所で警戒レベ ②-1 電気·水道の使用量が前年度を下回る。 ②-1 電気・水道使用量は、コロナ ルが上がっている。 なかった。来年度 ②-2 毎日の清掃に取り組んでいる。 禍の影響で昨年4月~5月の休業 教室や廊下などに啓 生徒だけではなく. は複数名取得でき 88%以上 で本年度は約1.5倍増加した。水道 発ポスターの掲示,手 自分の命は自分で るように配慮した ②-3 学校はゴミの落ちていない整った環境 使用量は8月~12月まで漏水の影 指消毒液ボトルの設置 守る行動を取れる い。 が保たれている。 81%以上 響で本年度は約20%~50%の使用 や全校集会での呼びか よう, 考えておか ②-4 毒劇物・農薬使用の軽減 量となった。 け等を行った。 なければならない。 すべての生徒に C ③ 食の安全・安心の観点からの教育を推 ②-2 毎日の清掃に取り組んでいる。 イオウ合剤の使用年1回以下 対して災害時に冷 静な判断や適切な 進する。 86% ②-3 学校はゴミの落ちていない整 水道使用量は、昨年 行動がとれるよう, った環境が保たれている。 68.2% 度の休業期間中(4月 必要な知識を身に ②-4 毒劇物・農薬使用の軽減を実 ~5月)の使用量が少 つけさせていきた なかっため, 今年度は 施した。 イオウ合剤の使用 1回 ③-1 食育通信の発行 年1回 ③-1 食育通信の発行 150%の増加となった。 1 回 地域の防災組織 ③-2 食育関連講習会の実施 年3回以上 ③-2 食育関連講習会の実施 0回 との連携を図り、 (下位組織レベル) 活動計画 活動計画の実施状況 電気使用量では2~ 避難所運営 · 防災 ① 防災教育の充実及び自己の健康管理能 ①-1 防災計画を周知徹底するとともに防災 ①-1 防災計画を周知徹底するとともに防災 15ポイントの増加が見 食体験などの訓練 力の育成 られた。本年度9月よ 情報を提供する。 情報を提供した。 も行いたい ①-2 防災訓練の実施及び避難経路・避難場 ①-2 防災訓練の実施及び避難経路・避難場 り教室のエアコンを新 所・危険箇所・防災備蓄品の確認を1回行 所・危険箇所・防災備蓄品の確認及び防災 調したクラスがあるた 自然災害などに 講演会を実施する。 った。防災講演会はコロナ禍で実施してい め、9月は減少も見ら 備え,学校として ①-3 学校内外で活動を行い、その活動内容 れたが, 感染症防止対 の防災力の向上強 を報告する。 ①-3 学校内外における活動内容の報告を予 策の一環として換気を 化をより一層図っ 定中。 行っており, 使用量は ①-4 保健だよりを発行する。 ていきたい。 ①-5 心肺蘇生法講習会・歯科保健指導等を ①-4 保健だよりを発行した。 増加傾向にある。 実施する。 ①-5 歯科保健指導等を実施した。 節水・節電を生徒 ①-6 保護者に健診結果を通知する。 ①-6 保護者に検診結果を通知した。 校内での生活環境を とともに心がけ, ①-7 保健調査を実施し心身の健康問題を把 ①-7 保健調査を実施し心身の健康問題を把 LED電球の導入 整えるため, 生徒への 握する。 握に努めた。 啓発や清掃の進め方を など設備面からの 見直し、より良い環境 節電・節水を図っ ②-1 水道量・電気量の月別の使用量をグラ ②-1 水道量・電気量の月別の使用量をグラ ② 節電・節水・ゴミの分別を行い、校内 で過ごせるようになっ ていきたい。 美化および適正な農薬散布の徹底 フ化して掲示し, 節電・節水の呼び掛けを フ化して掲示し, 節電・節水の呼び掛けを 行った。 ②-2 年 2 回, 生徒・職員にアンケート調査 ②-2 年2回、生徒・職員にアンケート調査 ・ 避難訓練はコロナ禍 を行った。 を行う。 のため、消防署参加の ②-3 クリーンデイの実施と環境美化委員に ②-3 クリーンデイの実施と環境美化委員に 指導は取り止めた。12 よる清掃活動を行い、状況等についてアン よる清掃活動を行った。状況等についての 月に感染症対策をした ケート調査を行う。 アンケート調査を行う予定である。 上で, 学校単独での避 ②-4 適正な農薬散布を徹底する。 ②-4 適正な農薬散布を徹底した。 難訓練及び消火訓練を 全員参加で実施した。 ③ 食育の実施 ③-1 食育通信の編集方法に工夫を加え、よ ③-1 食育通信の編集方法に工夫を加え、よ り効果的に啓発を行う。 り効果的に啓発を行った。 ・ イオウ合剤は果樹の ③-2 PTA研修活動・家庭クラブ活動で食 ③-2 PTA研修活動・家庭クラブ活動で食 休眠期における病虫害 育に関する講習会を計画し、食事の重要性 育に関する講習会を計画し、啓発プリント 防除のため, 用法を守 り1回使用した。 を呼びかける。 を配布した。

【| 備 考 | 評価における「評定」の基準】A:100%達成 B:80%以上達成 C:80 %未満~70%以上達成 D:70%未満~60%以上達成 E:60%未満達成